

## がん地域連携クリティカルパス普及のための方策について

### 1. 沖縄県がん地域連携クリティカルパスの経緯

#### がん診療連携拠点病院の整備に関する指針

(健発第0301001号 平成20年3月1日厚生労働省健康局長通知 平成23年3月29日一部改正より抜粋)

#### II 地域がん診療連携拠点病院の指定要件について

##### 1 診療体制

##### (1) 診療機能

##### ① 集学的治療の提供体制及び標準的治療等の提供

イ 我が国に多いがんについて、クリティカルパス(検査及び治療等を含めた詳細な診療計画表をいう。)を整備すること。

##### ④ 病病連携・病診連携の協力体制

ウ 我が国に多いがんについて、地域連携クリティカルパス(がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。以下同じ。)を整備すること。

エ ウに規定する地域連携クリティカルパスを活用するなど、地域の医療機関等と協力し、必要に応じて、退院時に当該がん患者に関する共同の診療計画の作成等を行うこと。

#### IV 都道府県がん診療連携拠点病院の指定要件について

##### 4 都道府県がん診療連携協議会を設置し、当該協議会は、次に掲げる事項を行うこと。

(5) 当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院が作成している地域連携クリティカルパスの一覧を作成・共有すること。また、我が国に多いがん以外のがんについて、地域連携クリティカルパスを整備することが望ましい。

### 2. 沖縄県がん地域連携クリティカルパスの現状

#### <クリティカルパスの作成・運用・普及活動>

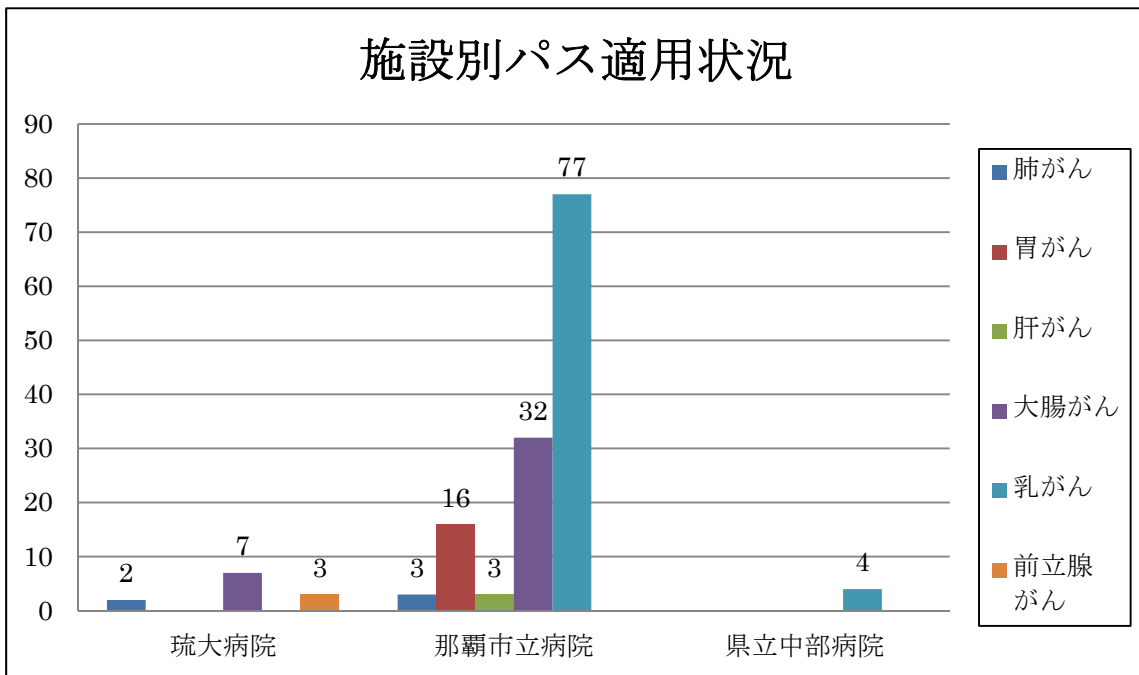
H21.9.9	沖縄県 5 大がん地域連携クリティカルパスが完成した。 ※5大がん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん)
H21.12.3~22.3.31	沖縄県 5 大がん地域連携クリティカルパス研修会の開催(合計14回) (南部 6 回、中部 2 回、北部 2 回、宮古 2 回、石垣 2 回)
H22.4.1	沖縄県内で 5 大がん地域連携クリティカルパス運用がスタート
H22.4.1~H23.3.31	沖縄県 5 大がん地域連携クリティカルパス研修会の開催(合計 2 回)
H22.12.13	前立腺がん連携パスが完成した。
H23.4.1~H25.3.31	沖縄県がん地域連携クリティカルパス研修会の開催(合計 2 回)

#### <協力機関>

かかりつけ施設 69施設(南部 39、中部 18、北部 7、石垣 2 施設、宮古 3)

<3拠点病院がん地域連携クリティカルパスの適用件数(H22.4.1～H25.7.2)>

施設名	疾患名						合計
	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	前立腺がん	
琉大病院	2			7		3	12
那覇市立病院	3	16	3	32	77		131
県立中部病院					4		4
合計	5	16	3	39	81	3	147



### 3. 検討事項

1. 県内でがん地域連携クリティカルパスの認知度を高めるには
2. 県内でがん地域連携クリティカルパスの適用数を増やすには